須田国太郎《モヘンテ》1922 年　油彩・キャンバス

須田国太郎（1891-1961）は京都に生まれ、京都帝国大学（現・京都大学）で美学・美術史を専攻。19 歳頃から独学で油絵を始めます。また、同時期に能（金剛流）の謡（うたい）を習い始め、晩年まで続けました。その後、関西美術院でデッサンを学び、28 歳の時、古典絵画の研究のためスペインを拠点に 4 年間留学。プラド美術館での模写などを通して、油彩画の実践と、歴史や美学などを研究しました。留学中はスペイン以外にもポルトガルやフランス、ドイツなど約 15 か国、170 以上もの都市を訪れて、見聞を広めています。

帰国後は、美術史の講師をしながら制作を続けていましたが、41 歳で初めて開いた個展を機に画壇デビューを果たします。

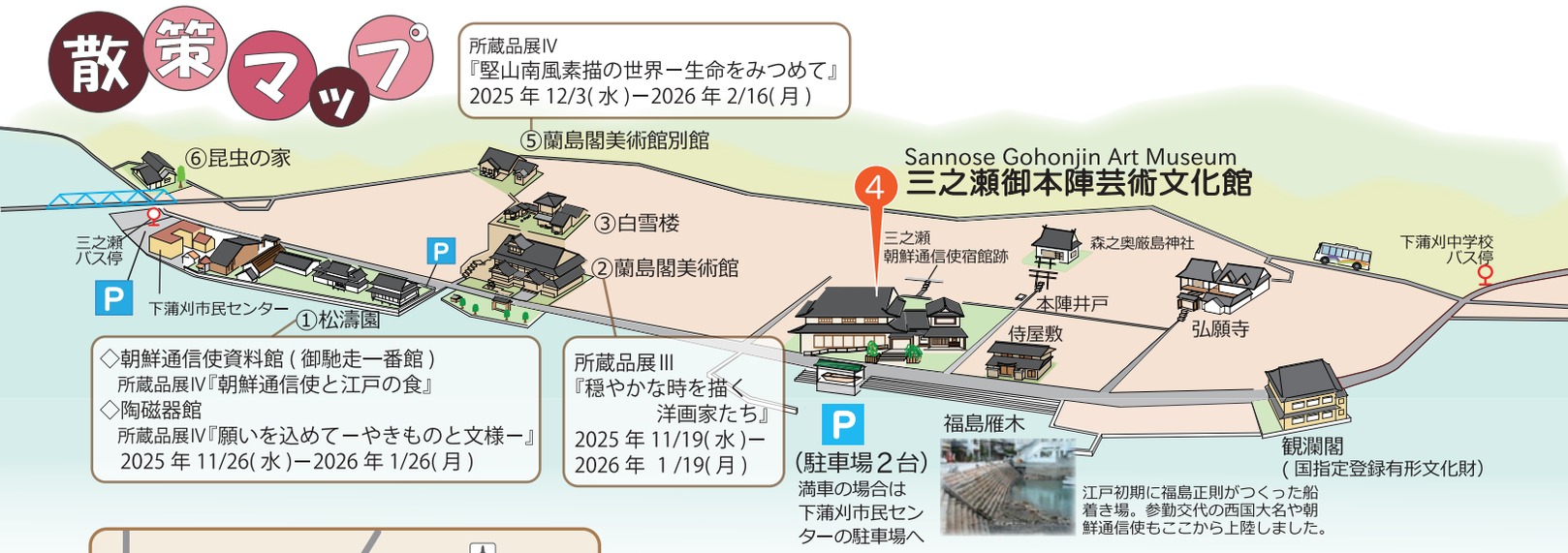
画家としてだけでなく美術史家としても活躍した須田は、油彩画以外にも水墨画、陶芸、謡などさまざまな芸術分野に目を向けています。本展では、須田の油彩画をはじめ、水墨画や陶芸作品のほか、能の動きを一瞬一瞬素早くとらえたスケッチも展示します。あわせて、須田が滞欧中に撮影したさまざまな国の写真や、造形に魅了され収集していたグリコのおもちゃも紹介します。

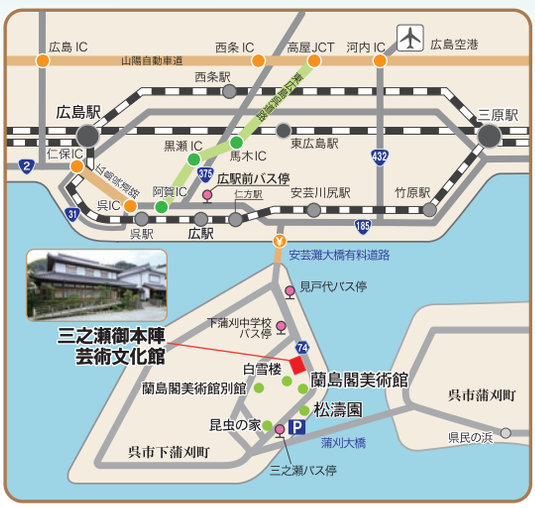
須田国太郎《大和室生寺十一面観音像》1951 年　油彩・紙

須田国太郎《馬》1944 年　紙本墨画

須田国太郎《角田川》1951 年　鉛筆・紙

散策マップ





広島市内から車で約60分

呉市内より国道 185 号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡った最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用できます。

指定施設にて 1,000 円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！
詳しくは、呉観光案内所 TEL:0823-23-7845 まで

＋ 呉市内から電車・バス利用の場合

JR 呉線で広駅を下車。広駅前の道路を渡ったところにある「広駅前」バス停から瀬戸内産交運行の「営農センター・沖友天満宮行き」バスに乗車。「下蒲刈中学校」または「三之瀬」で下車。バスは上下線とも毎時 1 本運行しています。
[バスに関するお問い合わせ：瀬戸内産交（株）TEL 0823−70−7051]

アクセス方法　バス時刻表

Instagram　Facebook

当館の SNS はこちらから♪